

そよ風

新しい年を迎えて、
心あらたに。区民一つになって！

久しぶりに夢をみました。「ここ屋久島・永田に〇〇大学環境学部が誕生?!」
こんな夢が実現すれば、人口減少が止まる・若者が定着する・サル、鹿、カメ…多様な動植物の保護と研究など。
いろんなことが解決するのですが…。



65歳以上が集落人口の半数を超え、限界集落に突入した永田。新年を迎えた挨拶を暗くはしたくありませんが、これが現実です。

留学制度をいち早く取入れ、長い間、全校児童は30名前後で維持されてきましたが、昨年春に19名になってしまいました。子どもたちの声がますます遠くなっています。

そのことで、ますます、「かめんこ」や学校のことが、人々の関心事から薄らいでいきます。

よその子と地元の子が触れ合って、互いが「永田っ子」として成長してきました。「学校を存続したい」というのが多くの大人たちの思い。でも実際は、子どもたちの純粋で素直な思いが、留学制度と学校を守ってきたのだと思います。

「海・山・川」三拍子揃っていて素晴らしい。文化も伝統もある。…確かにその通り。
誇りをもっていい所です。でも、そのほとんどは、「自然環境と先人たち」が用意してくれたものです。
観光客を呼び込むコマーシャルとしてはいいのですが、ここに長く住んでいただくためにはこれだけでは説得力に欠けます。

「ここで生活できること。」つまり仕事があることが、求められています。

「山→川→海そして再び山へ」の循環がつくる自然環境。そのことに寄り添う仕事を生み出せないか。日頃の強い思いが、初夢として「〇〇大学」が登場したのだと思います。

人がいなくなり、各行事をこなすことさえ大変になってきています。「仕事場づくり」を探索しつつ、「つなぐものは繋ぎ、変えるものは変える」の柔軟さと大胆さが、今この地に求められています。

老若男女を問わず、地元居住者・出郷者・元留学生やその家族・その他永田に想いを寄せる多くの人々。みなさんの声が大いに必要となっています。



今年は区長と区会議員の改選の年です。永田が存続していくために、思いを持つ人は、ぜひ名乗り出て欲しいと思います。

皆さんの健康を祈りつつ、新年の挨拶にさせていただきます。

2019 (H31) 年1月10日

永田区長 田中一巳

これからこんなことも

公民館の廊下が明るくなりました。

1月21日より1か月間、昨年6月以後の「永田のできごと」の写真を貼り出します。
購入を希望する方は申し込んでください。



一湊の肥後さんが車の無料点検を実施して下さいます。→1月15日(火)AM9～11公民館前広場にて



藤條さん(行政協力員)に永田マップを CD で提供していただきました。

近々、公民館窓口に置いて皆さんに活用していただきます。とても分かりやすい地図です。



9月19日に町へ提出した永田区民の「要望書」に対する回答が12月5日付けで届きました。
永田区事務所にありますので、希望されるみなさんはご覧ください。



町主催まちづくりミーティングに永田から
5人参加（12/19一湊公民館）



「永田の声」を発表している鎌田凛さんと麗夢さん。災害・農業・人口対策など盛り沢山の課題をうまくまとめてくれました。（^-^）

中学・高校生から鎌田さん兄妹、荒田伸作さん・田中咲枝(女性代表)と私(区長)の5人。
岩川俊広議長も永田グループに参加していただきました。



克也さん(永田老人クラブ会長)。子どもたちに
「永田の昔」を語る！！（12/14）



克也さんに届けられた児童
19名からの「感想文」。
＝食べ物を大切に。戦争がないから暮らせる。など泣かされる感想がいっぱい。

安房小の児童6年生が永田散策。（11/16）

「七学童＝命の大切さ」を牧富士夫さんが紙芝居で紹介。八重岳博物館では川崎和彦さんが案内。



途中小雨がパラつきましたが、何とかガイド役を終えることができました。後ほど届いた感想文には「自然のすごさと大切さが分かった」「これからはゴミ拾いなどに参加したい」「親と一緒に永田の里を見に来ます」「魅力的な所。個人的に来たい」「永田の人たちに挨拶をしたら、優しく返してくれていい所だなと思った」…有難い内容ばかり。（^-^）

町議会議員のみなさんと意見交換会
（7人の議員参加 11/7）

災害対策・ゴミ問題など多くの声が出ました。
有意義な場になりました。この様子は町議会ニュースで公表されるとのことです



10/11～2019・1/7の報告です。

10月11日秋の全国地域安全運動出発式(安房)
 16日 町環境政策課職員ら10人と浜被害
 現地視察と対策打合せ(公民館)
 18日 町農林水産課と打合せ(公民館)
 19日 台風被害で町建設課と打合せ(公民館)
 20日 中山神社大祭
 21日 田之峯神社大祭
 22日 永田チーム駅伝会議(公民館)
 24日 県建設課による永田川被害調査
 27日 区民運動会準備
 28日 区民運動会(永田小グラウンド)

= 11月 =

1日 永田小学校評価委員会(永田小)
 3日 福岡女子学園大学生「トビウオ招き」
 で再来(克也さん美智男さん対応)
 4日 駅伝試走22日
 5日 山海留学実行委員会(安房)
 6日 かめんこ留学実施委員会(永田小)
 7日 町会議員と区民の意見交換会
 (一湊公民館・永田から5人)

= 11月 =

11日 いなか浜清掃
 駅伝試走
 13日 三役会議(公民館)
 14日 臨時区会(公民館)
 戦没者追悼式(安房)
 15日 運動を楽しもう会
 戦没者追悼式(安房)
 16日 安房小児童の永田散策
 17日 留学希望者面談(安房)
 駅伝結団・出陣式
 18日 駅伝大会
 20日 環境政策課へ書類提出(宮之浦)
 22日 安全ネットワーク(永田小)
 23日 前浜清掃
 22日 安全ネットワーク(永田小)
 24日 留学希望者面談(安房)
 26日 肥後さん車の無料点検(公民館前)
 幼児学級の話合い(永田小)
 27日 三役会議(公民館)
 かめんこ理事会(永田小)
 28日 定例区会(公民館)
 29日 環境政策課に浜清掃報告(宮之浦)

= 12月 =

3日 公民館使用で申請者と話し
 7日 宮之浦交番会議
 10日 見守り隊出発式(安房)
 12日 JA会議(宮之浦)
 13日 あんぼや忘年会
 19日 まちづくりミーティング(一湊)
 20日 要望で役場本庁へ(小瀬田)
 22日 永田嶽大祭打合せ(公民館)
 28日 環境政策課でウミガメ相談

= 1月 =

3日 成人式(安房)
 5日 永田嶽神社大祭
 6日 永田消防団出初式
 7日 鬼火焚き
 門回り

鬼火焚きの様子**Ⅱ 編集後記 Ⅱ**

そよ風3号の原稿作成に追われていたその時でした。(1/8夜)

縦揺れ・横揺れ。それも長い。屋久島に住んでほぼ9年ですが、ここで体験する一番大きな地震だったような気がします。大阪で体験した阪神大震災を思い出しました。

昨秋の台風24号は激しい風雨とともに高潮も伴ってきた。浸水、落石、土砂崩れ。さらには海岸線に近い建物に大きな被害をもたらしました。「ちっこう」再興のメドはまだ立っていません。

年末の口之永良部の噴火による強烈な匂いと大量降灰。

災害は「永田も決して例外ではない」とを痛感した半年でした。

永田区民の多くは海拔10メートル以下に住んでいます。避難所のこと、備えるべきものなど災害への意識を高めるとともに、永田区としての「指標」の作成が急がれていると思います。

そよ風発行が、またまた3か月ぶりになつてしまいました。区民のみなさんの声を載せなければと思いつながら、そこに至りませんでした。また、次号の課題にということとご容赦ください。

ペ・T

台風24号の後片付け＝11/11にいなか浜、11/23は前浜。多くの皆さんに参加いただいた「浜清掃」。おかげで元のきれいな浜に戻りました。有難うございました。23日は羽生建設さんにも協力いただきました。